

ご案内: アンラーニング・プロジェクト 第Ⅲ期 ——現代の「米騒動」をさぐる

1918年夏——投機などによる急激な米価の高騰の中、この富山を「震源地」として、大阪といった大都市に向かうほど勢いを増しながら、「米騒動」は、「未解放部落」民をふくむ、いわゆる「下層社会」民と、なお、それと地続きに存在しながら、ようやく社会的な形姿を取り始めた近代的工場労働者との連結による、この国の近代史における最大の民衆騒乱として展開されました。

それからほぼ90年後の今——世界的な金融危機を口実として始まった「派遣切り」は、瞬く間にこの列島全体に広がりつつあります。そして、「派遣切り」にあった当事者たちは、雇用を失うとことがそのまま、住居を失い、食にも事欠くことになるという、文字通り生命の危機にさらされています。それ故にこそ、雑多な「有象無象」たちが集団で米穀商の店頭には押しかけて米の廉売を要求するという、いわば、「騒動による団体交渉」を街頭で直接、展開した「米騒動」は、現在の私たちにとって新たな意義やリアリティーを獲得しつつあるように思います。

この年末年始、この列島各地で繰り広げられた「派遣切り」にあった当事者たち・野宿者たちに差しのべられた支援——それを象徴するかのようであった東京での「派遣村」の営みは、まさに、「現代の米騒動」の展開そのものとも言うべきものです。

それらの営みは、この間、この国で強行されてきた「生の保障」の破壊／劣化に抵抗して、**No!** の声をあげてきた「フリーター」のユニオンや、「反貧困ネットワーク」が生んだ大きな成果だと言ってよいと思われまます。

「アンラーニングプロジェクト第Ⅲ期——現代の『米騒動』をさぐる」では、まさに現在進行中の「現代の米騒動」と自称／他称されもする、様々な営みをさぐることを試みます。ぜひ、ご参加下さいますよう、呼びかけます。

アンラーニングプロジェクト第Ⅲ期——現代の「米騒動」をさぐる

- NO.1: レポート+映像 「フリーター労組は反撃する！」
1月25日(日) 午後1:30~4:30 サンフォルテ305号室
- NO.2: 映画 「素人の乱」(08年 中村友紀監督)上映+フリートーク
2月22日(日) 午後1:30~4:30 サンフォルテ306号室
- NO.3: レポート+映像 「『反貧困』ネットが問いかけるもの」
3月22日(日) 午後1:30~4:30 サンフォルテ306号室

裏もご覧ください。

ご案内

2.11「憲法フェスタin富山」参加企画： 9条と25条：いま お互いにかたく²抱きしめあう時

昨年11月1日に予定されていた「憲法フェスタin富山」は、事情によって今年2月11日に延期されました。その2月11日ももう間近です。

すでに御存じのように、昨年秋以降、顕著になったいわゆる「派遣切り」は、またたく間にこの列島全域に広がりつつあります。

今や「派遣切り」を、「非正規雇用」労働者だけに関わる問題／「労・資」間の問題だと、思う人はほとんどいないでしょう。この列島に生きる人々は、多かれ少なかれ「人間ガコワサレテイク」／「コノ社会ガコワレテイク」と感じています。

「平和的生存権」／「平和的生存権」の旗をさらに高くかかげる時、その旗の下に集い、この列島(上の社会)の未来をたぐり寄せる時——そのような思いから、私・たちは、2.11「憲法フェスタin富山」に、以下のような企画をもって、参加します。

ぜひお出かけいただきたく、ご案内します。

2.11「憲法フェスタin富山」参加企画： 9条と25条：いま お互いにかたく²抱きしめあう時

なが年にわたる9条と25条の〈恋〉——それをさらに深め、たがいに
たくかたく抱きしめあう——そのためには、〈なに〉が必要かをめぐる
ディスカッションの試み

- と き:2月11日(水・休日) 午後1:00~4:00
- ところ:自治労とやま会館(富山駅北口徒歩10分)
- コメンテーター : 山口素明さん
(「フリータ全般労組」／「反戦と抵抗のフェスタ」実行委員)

生・労働・運動ネット

代表 ^{ハノ} 埴野 謙二

富山市神通町3-5-3(神通大橋東詰手前左)

E-mail : jammers@net-jammers.net

TEL 076-441-7843 FAX 076-444-6093

裏もご覧ください。